

著者名索引 (アルファベット順)

- A 秋山 好則** →鈴木由告 (118) - 16
- 荒川 駿利** 新しいシャクナゲの雑種 "クロヒメシ
ャクナゲ" について (5) - 9
- トガクシソウの生態と繁殖環境につ
て (9) - 27
- 浅田 節夫** ニホンカラマツの天然分布地域につ
て (6) - 1
- →川崎圭造 (112) - 35
- 浅川 富雄** 松本盆地にシラゲガヤの大繁殖(4) - 21
- 帰化植物の調査から霧ヶ峰の現状を訴
える (5) - 19
- 中部信州帰化植物 (6) - 30
- 亜高山帯の破壊に伴う人里植物の上昇
(7) - 43
- 長野県における裸地再生群落の構成種
とその立地別消長 (8) - 37
- 長野県の帰化植物の動態 (1) - (3)
(9) - 38, (13) - 14, (16) - 31
- 松本・名古屋両市街地の人里植物を対
比する一特に帰化植物の動きを追って - (11) - 32
- 路辺植物の耐乾性を比較する (12) - 29
- 野外植物の生育状態と気候 (14) - 36
- 松本安曇平の植物気候、特に松本市周
辺の特殊気候に注目して (15) - 37
- 北海道の帰化植物—長野県との現状比
較 (17) - 12
- 長野県に急繁殖したイヌキイモ(18) - 26
- 浅野 一男** アカマツ林の植物社会学的研究—特に
伊那谷を中心として (1) - 6
- 植物社会成立の地史的背景 (1) - (3)
(5) - 26, (6) - 17, (7) - 54
- チマキザサーショウジョウスゲ群集に
ついて (10) - 80
- 東海地方東部のモミ林の構造と分布
その1, その2 (11) - 1, (12) - 14
- スタジイ群団領域の非常状植物社会
—シバヤナギ群集(新) (中山湧) (11) - 25
- 鈴木時夫先生を悼む (11) - 85
- 長野県下伊那郡阿南町新野の植物名方
言 (13) - 37
- 長野県下伊那地方の植物方言 1 ~ 7
(14) - 45, (15) - 48, (16) - 42, (17) - 38, (18) - 47
(19) - 29, (20) - 136

末尾の数字は会誌の号数 () と頁数を示す。

- 浅野 一男** 下伊那地方のフロラに追加されるべき
植物 2 種 (19) - 6
- 下伊那地方フロラ新発見 I (20) - 113
- →林 一六 (10) - 97
- B 馬場多久男** 枝条の形態からみた落葉広葉樹の分類
(1) (11) - 42
- 信州大学農学部西駒演習林の植物採集
(17) - 77
- 伊那地方の天然生アカマツ林の種組成
と地位指数の関係について (20) - 94
- 創立20周年記念自然観察会の記録
(渡辺隆一・土田勝義) (20) - 149
- F 藤森 嶺** たばこの香氣成分 (20) - 20
- 福原 裕子** →水野瑞夫 (8) - 67, (9) - 18
- H 浜 栄助** 下伊那のスマレ (3) - 1
- ナンザンスミレについての考察 "対馬
にナンザンスミレをみて" (5) - 15
- 南西諸島〔沖縄諸島(琉球列島)・薩南
諸島〕のスマレ (20) - 106
- →神山隆之 (6) - 27
- 花里 弘** 佐久東部山地の主なシダ植物 (20) - 124
- 原 寛** 長野県植物研究会10周年に寄せて
(10) - 1
- 原 嘉彦** シダ植物の鱗片の研究 (1) (4) - 26
- シダ植物の葉柄および葉軸内維管束の
研究 (7) - 10
- Fiddle Head と葉軸・羽軸の溝の形
成並びに展開過程の研究 (8) - 11
- 橋渡 勝也** 木曾郡南木曽町柿其で発見した長野県
新産植物 2 種 (高橋秀男) (10) - 128
- 長野県篠ノ井における市街地を中心と
したタンボポ分布調査 (20) - 100
- 林 一六** 植物の生活様式の適応 (1) - 24
- 植物の生育型について (1)(II)
(2) - 49, (3) - 32
- ブラジル東部植物紀行 (5) - 77
- 長野県の社寺林 (予報) (浅野一男,
土田勝義, 和田清) (10) - 97
- 独鈷山採集会報告 (12) - 66
- 平林 国男** 北アルプス餓鬼岳合宿調査報告(1) - 39
- ハナカエデの生態学的研究 (I) - 自生地
における植物相と植生 (高橋秀男) (2) - 1
- 広瀬 忠樹** (綜説)植物群落の物質生産 (6) - 75

本田 正次	長野県の天然記念物と私—その植物について—	(10) - 51	甲谷 俊彦	→水野瑞夫	(9) - 18
宝月 欣二	長野県と陸水生物学	(10) - 64	苅住 昇	〔特別寄稿〕 植生と根系に関する研究	(14) - 55
堀米 和雄	ミヤマニガウリの花器保護の現象について	(5) - 59	加藤 久雄	→土田勝義	(8) - 52
I 井波 一雄	シンポジウム：長野県南部と岐阜県東部のフロラの比較	(8) - 108	加藤 雅啓	根の起源と維管束植物の分類	(20) - 58
飯泉 茂	→石川慎吾	(10) - 20	川崎 圭造	カラマツの立地と分布に関する諸問題 (浅田節夫)	(12) - 35
池田登志男	茂来山の植物採集	(19) - 53	木村陽二郎	徳川時代渡来の植物図譜	(10) - 43
—————	佐久東部山地の植物分布ニュース	(20) - 111	木下栄一郎	長野県堀金村におけるマムシグサ集団の一観察 (清水建美)	(11) - 54
—————	御座山の植物採集	(20) - 151	—————	→清水建美	(12) - 64
池田 信三	→和田 清	(20) - 90	北川 政夫	日本産植物数種の学名考証	(10) - 3
今井 建樹	釜無溪谷の植物	(9) - 72	北川 尚史	〔特別寄稿〕 ナンジャモンジャゴケとコケの系統について	(7) - 87
入来 義彦	植物分類学の一考察—鞭毛藻類とキンポウゲ科植物を中心として—	(10) - 117	北村 智恵	亜高山帯針葉樹林下における倒木上着生植物群落 (II)	(5) - 46
石川 慎吾	荒雄川のミチノクシロヤナギ林の発達に関する2,3の知見 (内藤俊彦・飯泉茂)	(10) - 20	滑沢 晴親	随想—植物と昆虫・植物採集	(1) - 36
伊藤 文男	下伊那の帰化植物	(8) - 46	—————	寺島虎男先生を悼む	(3) - 62
—————	豊口山の植物採集	(13) - 55	—————	横内斎さんを想う	(14) - 63
—————	天竜川流域の植物採集	(18) - 64	小林 圭介	台湾の針葉樹林について	(4) - 8
伊藤 静夫	長野市周辺におけるアカマツ林の植物社会学的研究 第一報 浅川三登山について	(2) - 44	小泉 武栄	〔特別寄稿〕 世界的視野からみた日本の高山帯	(16) - 53
—————	長野県のオオシラビソ群集について	(5) - 53	—————	北アルプス白馬・鹿島槍連峰の強風地における植生観察	(17) - 8
—————	角間溪谷の植物	(7) - 92	久保田秀夫	八ヶ岳山麓のサクラ—マメザクラとタカネザクラの雑種—	(10) - 124
—————	小菅神社のキタゴヨウ林	(11) - 83	熊代 克巳	果樹における穂植物と台植物の相互関係	(13) - 1
—————	一夜山の植物採集	(12) - 67	倉田 悟	信州下伊那郡大鹿村の植物名方言	(10) - 54
岩田 悦行	〔特別寄稿〕生物教育の現状と将来	(18) - 57	栗田 正秀	ヤマツツジの多細胞普通毛	(18) - 1
井上 雅好	生物への新たなストレス—電場への影響—	(20) - 11	—————	エゾムラサキツツジの盾形毛	(19) - 1
K 甲山 隆司	北八ヶ岳の亜高山シラビソ・オオシラビソ・ダケカンバ混交林の動態	(20) - 36	—————	レンゲツツジの苗条の毛	(20) - 104
梶 幹男	カメルーン南西部熱帯多雨林の組成および構造—Tetraberlinia bifoliolataの個体群構造からみた群落の動態—	(20) - 42	草間 博	佐久の帰化植物記録	(20) - 118
門田 裕一	長野県のトリカブト類(キンポウゲ科)について	(20) - 66	M 前川 文夫	〔特別寄稿〕 古赤道分布とカンアオイ類	(10) - 72
亀山 章	創立20周年記念大会の記録	(20) - 150	前田 禎三	富士山のカラマツ天然林 (浅沼晟吾・谷本文夫・神戸陽一)	(10) - 12
神山 隆之	薩摩に見出された珍奇なスミレの雑種	(6) - 27	丸山 利雄	深雪地飯山の常緑低木	(9) - 37
金井 弘夫	長野県フロラ作製資料の電算機処理	(16) - 1	—————	長野県植物研究者伝 1. 田中芳男抄伝	(9) - 63
—————	→清水建美	(12) - 50	—————	長野県植物研究者伝 2. 斎田功太郎抄伝	(10) - 137
			—————	長野県植物研究者伝 3. 河野齡藏抄伝	(11) - 76
			—————	長野県植物研究者伝 4. 矢沢米三郎抄伝	

丸山 利雄 長野県植物研究者伝 5. 白沢保美抄伝 (12) - 55
 ———— 長野県植物研究者伝 6. 小山海太郎抄伝 (13) - 47
 ———— 長野県植物研究者伝 7. 田中貢一抄伝 (14) - 53
 ———— 長野県植物研究者伝 8. 小泉秀雄抄伝 (15) - 54
 ———— 長野県植物研究者伝 9. 横内斎抄伝 (16) - 50
 正宗 敬敏 植物学者の見た屋久島の今昔 (17) - 48
 ———— 牧野富太郎先生を偲びて (18) - 55
 俣野 敏子 佐野泰先生を悼む (19) - 65
 ———— →佐野泰 (20) - 114
 ———— →氏原暉男 (21) - 1
 松田 行雄 長野県におけるミズゴケ類の分布並びに生態学的研究 (22) - 31
 ———— 長野県産ミズゴケ類 (Sphagnales) の分布並びに分類 I, II (23) - 53, (24) - 16
 ———— 鉢盛山 (黒川) 採集会 (25) - 95
 ———— 湿原植生の群落学的研究 III. 北アルプスの湿原植生 (26) - 89
 ———— 長野県植物研究会創立10周年記念大会 (27) - 139
 ———— 湿原植生の群落学的研究 V. 居谷里湿原の植生 (28) - 27
 ———— 美ヶ原焼山のブナ林の群落学的研究 (29) - 1
 ———— →奥原弘人 (30) - 111, (31) - 1
 三木 昇 →土田勝義 (32) - 57
 三浦宏一郎 [特別寄稿] 菌類のはなし (33) - 57
 水野 瑞夫 奥美濃のブナ林について (田中俊弘・福原裕子・甲谷俊彦) (34) - 67
 ———— 岐阜県のアカマツ林について (田中俊弘・福原裕子・甲谷俊彦・大内幸雄・岡田裕) (35) - 18
 望月 精一 上小地方に初記録のシダ3種 (36) - 31
 桃谷 好英 シンポジウム：現代の成分分類学 (37) - 57
 村上 宣雄 希望ヶ丘 (滋賀県) におけるアカマツ林の植物社会学的研究 (38) - 79
 村田 源 シンポジウム：植物地理学からみた日本フロラの特性 (39) - 66
 N長島 英二 →中本信忠 (40) - 67
 内藤 俊彦 →石川慎吾 (41) - 20
 中本 信忠 菅平ダム湖における珪藻の同調生長現象について (予報) (長島英二) (42) - 67
 中谷 易功 →土田勝義 (43) - 52
 中山 包 野草と雑草の種子の耐乾・耐湿性が植生上にもつ生態学的意義 (44) - 1
 ———— ヘテロスタイリー (異花柱性) とその周辺 (45) - 1
 中山 洌 黒姫山の植物社会 (46) - 14
 ———— 黒倉山調査報告 (47) - 41
 ———— 男山の植物を訪ねて (48) - 82
 ———— 中国で垣間見た植物 (49) - 20
 ———— →浅野一男 (50) - 25
 名取 陽 標高と植物 (51) - 24
 ———— 八ヶ岳, 阿弥陀岳, 広河原沢の植物採集 (52) - 69
 ———— 横川峡・経ヶ岳の植物採集 (53) - 66
 ———— 東アフリカ, エルゴン山とキリマンジャロ山の植物 (54) - 31
 西田 誠 シンポジウム：裸茎類—原始陸上植物 (55) - 78
 沼田 真 ドナウ盆地の植生, その他 (56) - 36
 O落合 照雄 天龍川へ注ぐ三支流河川の底生藻類と水質汚濁 (57) - 39
 ———— 松本市内河川の水質と底生藻類 (58) - 20
 ———— 天竜川の底生藻類と水質汚濁 (59) - 43
 ———— 千鹿頭池の植物プランクトン (60) - 38
 ———— 長野県主要5河川の河床付着藻類と水質汚濁 (61) - 129
 大木 正夫 信州の植生と土壌 (62) - 101
 ———— 森林のとりあつかい (63) - 111
 ———— 鈴木時夫先生の思い出 (64) - 86
 ———— 風吹山の植物採集 (65) - 63
 大沢 雅彦 植生帯の成立と分化—日本のブナ林の生態地理学的考察— (滝口正三) (66) - 26
 大井次三郎 しかくだけ (しほうちく) (67) - 2
 岡部 牧夫 奥志賀林道の法面植生について (68) - 9
 ———— 法面草として有望な志賀高原のキク科植物 (69) - 27
 岡田 裕 →水野瑞夫 (70) - 18
 岡崎 純子 →清水建美 (71) - 5
 沖津 進 [特別寄稿] ハイマツ帯の動態—ハイマツ群落の動態とハイマツ帯の消長 (72) - 37
 奥原 弘人 木曽谷で問題になる二三の植物 (73) - 28
 ———— 阿寺溪谷採集会 (74) - 62
 ———— イヌコリヤナギの枝垂 (75) - 9

- 奥原 弘人 「木曽谷の植物」補正 (8)-36
 ——— 秋季合宿報告：釜無溪谷の植物（松田行雄） (8)-111
 ——— 賤母国有林の植物 (11)-57
 ——— 木曽谷産植物目録補遺 (12)-5
 ——— サクラ属の新雑種（松田行雄） (15)-1
 ——— 新知見あれこれ (1)-5, (15)-7, (16)-10, (17)-29, (18)-3, (20)-109
 ——— 前川先生の思い出 (17)-81
- 小野 貞雄 長野県における着色雪について(1), (2) (4)-29, (5)-64
- 大塚 孝一 信州の羊歯植物研究 I ~ IV (8)-18, (9)-45, (14)-10, (15)-19, (16)-13
 ——— 長野県産羊歯植物目録 (15)-12
 ——— 長野県のシダ植物雑記(1)~(3) (17)-32, (18)-4, (19)-4
 ——— 長野県におけるチャセンシダ属種間雑種の産地及びその識別について (20)-122
- 大内 幸雄 →水野瑞夫 (9)-18
- S 斉藤 信夫 青森県のカラスザンショウ林 (15)-34
 ——— 青森県の高茎草本群落 (18)-23
- 酒井 昭 植物の寒冷気候に対する適応戦略 (20)-73
- 坂本 圭司 北八ヶ岳における縞枯れについて (6)-11
- 佐野 泰 環境の変化とハイマツの生長（氏原暉男・俣野敏子） (10)-114
- 四手井綱英 黒四ダムサイトの修景について(10)-66
- 笹原 健二 →橘ヒサコ (20)-31
- 清水 長正 →鈴木由告 (18)-16
- 清水 建美 高等植物における裏日本要素について (1)-1
 ——— シンポジウム：植物社会学の基礎（解説） (2)-59
 ——— シンポジウム：ササ属植物の分類・地理・生態（解説） (3)-52
 ——— 日本産アザミ属植物の分類と新種ヤチアザミについて (4)-1
 ——— シンポジウム：中部地方における植物分布の問題点（解説） (5)-73
 ——— シンポジウム：土壌と植生をめぐって（解説） (6)-89
 ——— 欧州でみた日本植物研究史 I, II (9)-55, (10)-130
 ——— 高等植物の微細構造と分類—とくにホウセンカ属植物について— (10)-118
- 「長野県植物誌」作成の方法（金井弘夫） (12)-50
 ——— 長野県植物誌資料 I「信濃博物学雑誌」に掲載されたフロラ関係文献目録 (12)-59
 ——— 長野県植物誌資料 II「信濃教育」に掲載されたフロラ関係文献目録(I)（木下栄一郎） (12)-64
 ——— 植物地理学寸評 (13)-7
 ——— 高山植物の覚え書 I, II (14)-8, (15)-4
 ——— オレゴンの旅 (14)-42
 ——— トガクシタンポポについて(岡崎純子) (15)-5
 ——— 〔長野県植物誌資料VI〕 マンテマ属の種類と分類—長野県フロラ作成のために— (16)-58
 ——— ツリフネソウ属の染色体数 (17)-19
 ——— 〔長野県植物誌資料VII〕 松本市フロラ作成のためのチェックリスト (17)-56
 ——— ニュー・ジラルンドの高山植物と植生 (18)-41
 ——— 沙漠と氷河—中国の旅 (19)-14
 ——— 長野県植物研究会の歩み (20)-1
 ——— 第2回国際生物学賞授賞式に列席して (20)-147
 ——— →木下栄一郎 (11)-54
- 下野園 正 小路峠・柿其溪谷の植物採集 (17)-78
 ——— 田立森林公園の植物採集 (18)-63
- 志村 義雄 長野県下における興味あるシダ植物（その1） (6)-47
- 白岩 善博 植物とCO₂ (20)-3
- 相馬 潔 落葉の分解と土壌生物 (14)-32
 ——— ワラジムシの糞の分解 (17)-34
- 鈴木 兵二 霧ヶ峰湿原植生の今昔 (10)-30
- 鈴木 和雄 ヒナノウスツボ群（ゴマノハグサ科）の開花期における問題 (20)-24
- 鈴木 時夫 群集事始め (8)-1
 ——— 群集事なかば (9)-1
 ——— 群集これから—群集の本体は何であろうか？— (10)-75
- 鈴木 貞雄 長野県から報告されたササ類 (10)-4
- 鈴木 由告 吾妻山系西大嶺の亜高山帯上部における岩塊斜面と森林の群落構成からみた過去の森林限界（清水長正・秋山好則） (18)-16
- T 橘 ヒサ子 風連湿原高層湿原部におけるミズゴケ類の生産について（笹原健二・次原悟） (20)-31

只木 良也	物質生産における森林生態系の特徴	2.現地における移植実験	(18)-10
	(20)-78	——— ブータンの植物調査	(19)-24
高橋 秀男	長野県のアメリカナシカズラ(12)-34	——— →林 一六	(10)-97
———	タチヒルガオが長野県に帰化する	——— →松田行雄	(17)-1
	(20)-116	——— →馬場多久男	(20)-149
———	遠山川支流北又沢におけるヤシャイノ	土屋 守	日光産カラフトモモンヅルについて
デの分布	(20)-126		(20)-114
———	→平林国男	堤 久	長野県のシダ採集ノート 1, 2
———	→橋渡勝也		(15)-23, (18)-6
———	→山崎 惇	U氏原 暉男	ソバの生態型分化について (俣野敏子)
高木 典雄	日本北端石灰岩地の蘚類フロラ(10)-9		(7)-1
滝口 正三	→大沢雅彦	———	→佐野 泰
田中 修	開花時刻の調節		(10)-114
田中 俊弘	→水野瑞夫 (8)-67, (9)-18	W和田 清	長野県内の植生図
楯 誠治	春山林道の植物採集	———	長野盆地周辺の植生とその保護・保全
———	南木曾岳のまわりの植物採集		(8)-77
———	→横内文人	———	米子谷の植物を追って
寺島 虎男	安曇山野の植物分布についての考察		(9)-73
	(2)-17	———	長野県における山地帯以下の森林植生
———	雨飾山の植物の記録	———	——いわゆる中間温帯について——
戸部 博	キンボウゲ科の花の三数性		(10)-90
戸田 義宏	スギ科樹木の核学的研究	———	西ドイツ中部のブナ林域
豊国 秀夫	北海道の高山植物		(14)-18
———	リンドウ類の分類体系	———	黒姫山北麓の植物採集
———	センブリ類の分類体系		(15)-70
———	ハルリンドウとその近縁種	———	カヤノ平の植物採集
———	リンネ植物園		(16)-66
———	前川先生を偲んで	———	特定植物群落の選定調査について
———	興味あるタイ国産リンドウ属植物(19)-3		(19)-27
———	(講座)植物学ラテン語初歩(1)-(4)(14)-67	———	長野県北部の溪谷林—ジュウモンジシ
	(15)-71, (18)-55, (19)-43		ダーサワグルミ群集の位置づけ (池田信三・横
次原 悟	→橘ヒサコ		内正)
土田 勝義	美ヶ原高原の植物生態学的自然保護の	———	昭和61年度特定植物群落調査について
研究	(3)-26		(20)-135
———	自然保護運動集会に参加して	———	→林 一六
———	美ヶ原高原のコメツガ・シラビン林の		(10)-97
植生	(5)-37	和田 善三	リンドウ科植物の細胞学的研究その1
———	乗鞍岳の森林植生の組成と構造 (三木		(2)-54
昇)	(7)-57	———	アメリカの旅とリンドウ研究
———	霧ヶ峰高原におけるヒメジョオン類の		(3)-57
生態(1)(加藤久雄・中谷易功・山口詳二朗)	(8)-52	若林三千男	雌雄異株のモミジチャルメルソウ
———	美ヶ原高原の緑化実験		(20)-55
———	高山帯の植生回復に関する研究	若原 正博	美ヶ原周辺のすみれについて
1.現地における播種実験	(16)-25		(13)-5
———	高山帯の植生回復に関する研究	渡辺 隆一	志賀高原・地獄谷の植物採集
		———	植物の季節はいかにしてきまるか
			(14)-23
		———	カヤノ平地域におけるブナ林について
			(16)-18
		———	雨飾山麓の植物採集
			(17)-77
		———	野々海池周辺の植物採集
			(18)-63
		———	植物季節と自然教育
			(19)-50
		———	木本植物の開芽過程
			(20)-82
		———	→馬場多久男
			(20)-149
		Y八幡 泰平	長野県のハイマツ群落
			(3)-19

八幡 泰平	岩岳・親ノ原の植物採集	(15)-70
————	八坂村・野平の植物採集	(16)-67
山口 祥二郎	→土田勝義	(8)-52
山崎 惇	東日本ブナクラス域におけるコナラ林の概観(I)~(IV)	(13)-11, (14)-16, (15)-25, (16)-23
————	佐久市兜岩山の植物採集	(14)-62
————	タルマイスゲの新産地(高橋秀男)	(15)-10
山崎 林治	信州の植物研究家	(1)-31
————	庶民の森	(4)-41
柳沢 新一	蚕影山付近の植物と呼び名, 補遺	(8)-113, (9)-75
————	コケの共存バランス	(11)-71
————	コケの共存バランス補遺, 生理・病理生態学的考察	(12)-43
————	コケの共存バランス, 追加分・藻類(らん藻)考	(13)-26
横内 文人	木曽谷のヒノキ林植生	(3)-12
————	梓川下流におけるケシウヤナギ	(8)-30
————	長野県産ツツジ属の一定定法	(14)-1
————	〔長野県植物誌 資料V〕「長野県史蹟名勝天然記念物調査報告」に掲載されたフロラ関係文献目録(1), (2)	(15)-63, (16)-62
————	〔長野県植物誌 資料IV〕「信濃教育」に掲載されたフロラ関係文献目録(2)(楯誠治)	(13)-53

横内 文人	〔長野県植物誌 資料IX〕「植物採集ニュース」に掲載されたフロラ関係文献目録	(18)-60
————	〔長野県植物誌 資料X〕「野草」に掲載されたフロラ関係文献目録(1)	(19)-45
————	→横内 斎	(13)-49
————	→横内 正	(19)-7, (20)-87
————	→高橋秀男	(20)-116
横内 斎	菅平高原の植物	(1)-24
————	北安曇郡神城地区の植物, 親海湿原を中心に	(6)-44
————	長野県に新たに加わる植物 I~VII	(7)-8, (8)-29, (9)-54, (10)-128, (11)-53, (12)-13, (13)-10
————	信州植物の地史的分布	(12)-12
————	〔長野県植物誌 資料III〕「長野林友」に掲載されたフロラ関係文献目録(横内文人)	(13)-49
横内 正	中部信州ブナ林の植生(1)―東筑摩郡北部(横内文人)	(19)-7
————	中部信州ブナ林の植生(2)―東筑摩郡南部・小県郡西部(横内文人)	(20)-87
————	→和田 清	(20)-90
吉田 直隆	高山風衝地の植物群落をとりまく温度的環境―木曽駒ヶ岳における地温観測の結果から―	(19)-10
吉江 清朗	1株のイヌブナ	(19)-51
吉玉国二郎	花の色について	(14)-39

〔交換図書雑誌目録 (153頁より続く)〕

愛媛の博物館(県博物館協会) No 15, 16, 1986
 高知県の植物(土佐植物研究会) No 8, 1986
 わたしたちの自然史(北九州自然史友の会) No 21
 ~23, 1986
 生物研究会誌(福岡大学生物研究部) No 15, 1985
 福岡の植物(福岡植物研究会) No 12, 1986
 福岡植物研究会会報(同上) Vol. 9, No 1~4,
 1986~87
 長崎県生物学会誌(同会) No 31, 1986
 熊本記念植物採集会月報(同会) S. 61, 4・5月~
 S. 62, 2月, 1986~87
 Botany(熊本記念植物採集会) No 36, 1986
 鹿児島島の植物(鹿児島植物同好会) No 8, 1986
 Bull. Torrey Bot. Club(N. Y. Bot. Gard.)
 Vol. 112, No 3~Vol. 113, No 3, 1985~86

2. 図書・その他

新潟県青海町 黒姫山の植物(石沢進) 1978
 第2回自然環境保全基礎調査 植生調査報告書(新潟県) 1979
 阿賀野川溪谷(福島・新潟)の植物(宮永弘ほか)
 1984
 苗場山・烏甲山(長野・秋山郷)の維管束植物(石沢進・白崎仁) 苗場山のコケ植物(白崎仁) 1985
 新潟県: 五頭連峰の植物・ドンチ池の植物(小林浩二・石沢進) 1986
 信濃教育会創立100周年記念雪山登山隊記録(信濃教育会) 1986
 種子植物目録 生駒標本I(鳥取県博物館) 1985
 愛媛の島々の自然(愛媛県立博物館) 1986
 牧野文庫蔵書目録(和書・漢籍の部)(高知県立牧野植物園) 1985